

タイで『アウトランダーPHEV』を初披露

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役 CEO：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、本日からタイ・バンコクで開催される第 37 回タイランド・インターナショナル・モーター・エキスポ 2020*¹ でプラグインハイブリッド EV 『アウトランダーPHEV』を同国初披露し、予約注文を受付け開始しました。アセアンでは昨年 7 月のインドネシア、本年 9 月のフィリピンに続いて 3 カ国目の投入となります。



『アウトランダーPHEV』

当社 CEO の加藤隆雄は「[新環境計画パッケージ](#)」で策定したように、当社は持続可能な社会の発展に貢献するため、まずは 2030 年までに電動車比率 50% の達成を目指しています。今回の『アウトランダーPHEV』のタイへの投入は、当社が推進する電動車普及への道のりを支えるものです。環境に配慮したソリューションを求めるタイのお客様に新たな環境対応車として提案します」と述べています。

『アウトランダーPHEV』は三菱自動車の強みである電動化技術、SUV 技術、四輪制御技術を結集させたフラッグシップモデルです。ツインモーター4WD と車両運動統合制御システム「S-AWC」によって、力強く滑らかで静かな EV ならではの走り、誰もが安心して楽しめるハンドリングを提供します。2013 年の発売から累計販売台数は 26 万台を達成し*²、PHEV カテゴリーにおいて世界最多販売*³、欧州では 2015 年から 5 年連続でプラグインハイブリッドカテゴリーの販売トップ*⁴ となっています。近日中に日本での発売を予定している新型『エクリプス クロス』の PHEV モデルとあわせ、グローバルでの PHEV ラインナップを拡充していきます。

また、同イベントではタイにおける生産・販売会社ミツビシ・モーターズ・タイランド（以下 MMTh）が「電動 DRIVE HOUSE（以下 DDH）」をデモンストレーション展示します。DDH とは、電動車、V2H*⁵ 充放電機器、太陽光パネル、家庭用蓄電池などで構成する家庭での使用を想定したシステムをパッケージ化したサービスです。家庭での太陽光発電による電動車への充電や、電動車から家庭への電力供給を可能とし、電気代の節約や緊急時の非常用電源としての利便性をはじめ、お客様に様々なメリットを提供します。

本年 10 月に MMTh はタイ発電公社 (Electricity Generating Authority of Thailand) と『アウトランダーPHEV』を用いた V2X^{*6}からのエネルギー変換の開発、試験、データ収集への覚書を締結しており、両社で連携して同国での V2X 事業の検証に取り組んで参ります。

*1：12 月 1 日 (火) は VIP・プレスプレビューデー、2 日 (水) は開会式・Grand Charity Day、3 日 (木) ～13 日 (日) は一般公開日として開催されます。新型コロナウイルス感染拡大の対策を含め、詳細は下記公式サイトをご参照ください。

<https://www.motorexpo.co.th/>

*2：2020 年 10 月末時点

*3：2013 年 1 月～2020 年 9 月累計販売台数。当社調べ

*4：2015 年 1 月～2019 年 12 月累計販売台数。当社調べ

*5：Vehicle to Home の略で、EV や PHEV に蓄えた電気を家庭で使う仕組みのこと。

*6：Vehicle to X の略で、V2H (Vehicle to Home) や V2G (Vehicle to Grid) などの総称。

以 上